

第4回 神戸港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会 議事概要

日時:令和3年8月6日(金)10:00~11:30

場所:近畿地方整備局 神戸合同庁舎1階 第4会議室(WEB 併用)

●議事

- ・神戸港 CNP 検討会の振り返りと今後の進め方
- ・カーボンニュートラルポート(CNP)の形成に向けた取組状況
- ・神戸港における今後の取組
- ・意見交換

●主なご意見

- CNP には、港湾そのものの CNP の形成と、水素やアンモニア等のサプライチェーンの入口としての拠点の形成という2つの大きな要素がある。いずれにせよ、港湾の整備には時間がかかるので、ロードマップを作成して進めるべき。
- エネルギー・物流問題について、他国では政府の補助が大規模に行われている。日本政府の投資はまだ十分ではないと思われるため、企業参入に向けたリスク回避のための保証や補助などを、まずは神戸港から提案していただきたい。
- 地元的一般市民も含めてカーボンニュートラルへの理解はあるが、実際にやらなければいけないという認識との間に大きなギャップがある。より積極的な広報活動を行い、このギャップを埋めていくべき。
- 海上コンテナの搬出入時にコンテナターミナル前で発生する渋滞の解決に向けた検討も CNP の形成にとって必要。
- FC 化された荷役機械の導入や技術開発に向けては公的な補助が必要。
- CNP の形成に向けた港湾の整備そのものもカーボンニュートラルでないといけない。CO₂ を吸収する新しい材質のコンクリート等の活用も検討すべき。